

統計データから

農業支援サービスに関する調査結果（令和3年度）

本調査での農業支援サービスとは、不特定の農業者等に対して対価を得てサービスを提供することをいい、ドローン散布等の作業受託やデータ分析、農業機械のシェアリング、農業現場への人材供給等である。

「食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査」（農林水産省）の一環として、令和3年8月上旬から9月中旬にかけて、農業者20,000人を対象として実施され、12,938人から回答を得た結果である。

外部の組織等が提供しているサービスの利用状況について、「利用している」と回答した割合は全体としては52.9%であった。営農類型別では、酪農82.8%、肉用牛が70%と高い。

利用している有償の農業支援サービスの内容について営農

類型別に表-1に示した。水田作では、「農薬散布や追肥等」が57.4%と最も高く、「施肥管理等の営農指導」、「収穫作業等」が続く。畑作では、「収穫作業や選別等」が57%と最も高い。一方、露地野菜、施設野菜、果樹では、「施肥管理等の営農指導」が最も高く、特に、施設野菜では55.4%、果樹では58.7%とその利用割合が高い。また、「繁忙期のみ等の臨時的な人材派遣サービス」は、果樹22.5%、畑作21.2%、露地野菜19.6%でその利用割合が高い。

これらのサービスを利用している先は、「JA等の農業団体」68.9%、「農業法人や個人農業者」36.2%、「民間サービス提供会社」23.8%となっている（複数回答）。（K.O）

表-1 利用している有償の農業支援サービス（複数回答）

営農類型別	回答者数	定植や施肥管理等の営農指導	農薬散布や追肥作業等の代行	収穫作業や選別等の代行	は種や田植え作業等の代行	生育分析
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
水田作	2183	41.0②	57.4①	40.0③	23.2④	17.8⑤
畑作	307	41.7②	32.9③	57.0①	17.6	19.2
露地野菜	571	47.3①	28.7③	37.5②	23.1④	19.4
施設野菜	661	55.4①	30.1③	37.8②	24.2⑤	28.9④
果樹	467	58.7①	27.4③	34.7②	17.6	26.1④
営農類型別	作付計画や農機の購入等の経営指導	繁忙期のみ等の臨時的な人材派遣サービス	生育予測	大型農機等のレンタル、シェアリング	農業機械の定額料金を支払い、一定の期間利用	年間を通しての人材派遣サービス
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
水田作	15.8	10.5	12.6	8.4	4.5	0.8
畑作	21.5④	21.2⑤	11.1	12.1	5.9	2.6
露地野菜	19.6⑤	19.6⑤	8.8	11.6	4.0	5.6
施設野菜	19.5	14.5	9.8	6.7	4.1	7.3
果樹	19.5	22.5⑤	18.8	7.5	3.4	3.0

注) 表中の○囲み数字は、営農類型別にシェアの高い順①～⑤を示した。

統計データから（55巻7号）の表中の数字の修正

カロリーベースと生産額ベースの食料自給率（令和2年度） （上部略）

合計	843	2,269	37	104,032	154,308	84
（食料国産率）	1,052		46	110,098		71

67

55巻7号 p18、統計データからの「令和2年度の食料自給率に生産額ベースの食料自給率」の記事中、表の「合計欄」の数値が誤っておりました。申し訳ありませんが、修正をお願いします。